

第 23 回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA オンラインアジア大会(動画審査) 総評 幼児部門

●審査員 A

まず初めに、みなさんここまでよく準備をされ、選択した作品を高いレベルで演奏されたことに、お祝いを申し上げたいと思います。ここで、音作りについて少し考えてみましょう。どんな強弱で弾いているときでも、豊かに響き、歌うような、丸みのある美しい音を出すことに気を配るようにしましょう。もちろん、それには適切なテクニックとアーティキュレーションが必要です。指先はしっかりと力強く、でも手と腕は完全にリラックスした状態。それが基本です。そうすることで、音や空間、拍子間をコントロールし、作り出すことができます。また、テクニックを向上させ、より豊かな想像力を育むために、自分の音をしっかりと聴きましょう。

●審査員 B

幼児部門のレベルは非常に高く感動し、それが私の点数にも反映される結果となりました。まだ小さいのに、両手で弾けるだけでなく、音楽を理解して感じながら、表現豊かに、繊細さをもって、正確な拍子感で演奏されていました。

この段階において、最も重要かつ貴重な存在である指導者の方々の役割を強調したいと思います。このような素晴らしい結果を導いた先生方の指導方法やメソッドに敬意を表します。そのお陰で、まだ小さなお子さんたちも全ての音楽的要素に注意を払いながらピアノを弾くことができるのです。

皆さんとてもよく準備されていて、先生方が音楽の細部や微妙なニュアンスにまで気を配っていらっしゃるがよく分かります。

以下の点について注意すると、更に良い演奏になるのではないかと思います。

1. ピアノの位置 (=座る高さ) : 座る位置が高すぎたり低すぎたりして、肩が上がらないように気をつけましょう。
2. スラーの終わりにアクセントがつかないようにしましょう。
3. バロック曲を演奏するときには、左手の声部進行が失われないようにしましょう。ホモフォニックではなく、もっとポリフォニックに聴かせなければなりません。
4. 音質について : 時折、音がきつすぎることがありました。美しく歌うような音で演奏できるようこだわってください。

全体として、この部門のレベルの高さに驚かされるとともに、参加の皆さんと先生方にお祝いを申し上げます。

●審査員 C

まず、参加者の皆さんが非常に高いレベルの演奏をされたことに、お祝いを申し上げたいと思います。若い年齢の皆さんが、美しい音楽のフレーズを導き、柔軟な手で歌うようなレガートを奏で、多彩な音と音楽表現を形作ることに気を配っていることを嬉しく思います。これからも根気よくピアノの技術や

音楽的な想像力を磨き、さらにレパートリーを増やして行ってください。そしてまた、技術は作曲家のアイデアを伝えるための手段に過ぎず、それ自体が目的ではないことを忘れないようにしましょう。これからもがんばってください。これからのみなさんのピアノ学習がより充実したものとなるよう願っています。

●審査員 D

アジア大会に進まれただけあって、皆さん大変よく弾いていらして感心いたしました。

どれも踊りがベースの曲なので、譜面通りに正確に綺麗に弾くだけでなく、もっと身体でリズムを強く感じて、そして全体の大きな流れを大切に楽しんで弾くことを心掛けていただくと、より生き生きとした音楽になるかと思います。

●審査員 E

皆さんとても良く弾けていました。ただもう少し左右のバランスに気をつけて、音と音の間もよく聞いて歌いかけられると更にいいですね。これからも、頑張ってください。

●審査員 F

全体的にとってもレベルが高く、これが未就学児の演奏なのか、と驚きました。全員が入賞してもおかしくない演奏でした。今後も引き続き、よき指導者といい環境に恵まれて、伸び伸びと演奏を楽しんでほしいなと思っています。